

# カグラザカ+

たたき01-2  
20150406  
林敬一建築設計事務所

既存の空間の内部に構造的に独立した棚を設け、それらが取り囲む空間を売り場とカフェとした。棚のうしろの空隙を通して壁に商品や棚の影が映り込み、そのことが棚の独立性、ひいては棚がつくるスペースの独立性に作用するよう意図した。この店にはさまざまな作り手によるさまざまな商品が並ぶ。売り場にはそのように多様な商品のコンセプトを妨げないような棚であることが必要だと思われたので、シンプルな形状の棚板を提案した。キッチンカウンターも同様の考え方で計画している。テーブルは面積的な制限によりひとつのテーブルにカフェ、展示、ワークショップの機能を重複させた。ギャラリーは既存の空間を白くくり抜いたような彫刻的な空間とし、そのこと以外に何も無い素形の空間とした。

